**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、2024年より平和統一運動を同世代や後に続いていく世代の力とするために、この賞を創設いたしました。

**■今年の募集テーマは「ＳＮＳ（ソーシャル・ネットワーキング・サービス ）」**

SNS（Facebook、X、Instagram、Line、KakaoTalk、TikTok、YouTube など）を通じた在日同胞や海外同胞との出会いや体験。自分が携わってきたプロジェクトにSNSを活用して成功した事例や失敗。そして、そこから得られた教訓など、これらの事を通じて、今の時代に合う平和統一運動をどのようにしたらよいか、またどのような発信が良い影響をもたらすのかなど、様々なエピソードを募集いたします！

|  |  |
| --- | --- |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | **青年スピーチ部門：**募集日程及び大会日程は、ホームページ及び機関誌『平統解放』にてお知らせ致します。※ 第１連合会（北関東・東京・南関東）、第２連合会（北海道・東北）、第３連合会（東海、北信越）、第４連合会（近畿・中国・四国）、第５連合会（九州・沖縄）において、2025年6月15日（日）まで地方予選を行い、それぞれ代表１名を選抜し、本部に映像提出。**会員及び一般部門　エッセイ募集：**　2025年４月１日（火）～2025年６月15日（日） |
| スピーチ原稿規程 | **【青年スピーチ部門】**５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。**【会員及び一般部門　エッセイ募集】**800字以上3000字以内、１人１点。※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2025年６月下旬　ホームページにて公開。入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。両部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：**ＳＮＳを通した平和の道筋

**お名前：　日野俊昭**

(下記より本文をご記入ください)

　今日も朝からＹｏｕＴｕｂｅを観たり、Ｘでリポストしたり、自分の好きな情報、興味のある情報にアクセスして喜んだり驚いたりがっかりしたり、ＳＮＳは私にとって生活を豊かにしてくれる非常に有意義なツールです。

ひと昔前のことを思うと私たち達の情報源といえば本、新聞、ＴＶ、そして口コミくらいで、しかもその情報はオブラートに包まれていてかなり偏ったものでした。今は何か事が起きれば瞬時にＳＮＳに投稿され瞬く間に世界に広がっていきます。それが映像であれば何のフィルタも無しに拡散されいろいろな人が様々な意見が交わし記憶されていきます。どこかのＴＶ局のイエスマンだけを揃えた情報番組とは違いますね (笑）

　ＳＮＳはいろいろな使い方ができますが、せっかく世界に発信できるツールなのですからもっと有効活用はできないものでしょうか。そんな中で思うのは**「見る人を意識する」**ということです。

ネット空間も現実空間と同じで、ネガティブ、悪口、自己中心的だとフォロワーは増えませんし、やっぱりそういうのは相手にも見透かされてしまいますからね……。

フォロワーを大切なお客様と捉えて、見ている人たちをどう喜ばせるか、どうしたら楽しんでくれるかを一生懸命考えて発信するのです。たとえば「この映画最高だったよ！」と投稿してもその先のリンクに行くことはなかなかありませんが、映画「タイタニック」を例にするなら“レオ様主演だよ。タイタニック号沈没事故をもとにした、レオ様演じる貧しい青年と上流階級の娘とのラブストーリー。泣ける～”とか、内容を端的に伝えるようにするとか。

最初はぎこちなくても少しずつ共感してくれる人が増えてきて、それが喜びであり自分の成長を感じたりもします。鏡の法則ではないですが「ネコ好き」といえばネコ好きのコミュニティが生まれます。1枚の写真をアップするだけで“いいね”が100とか行くとワクワクします。

心の世界がＳＮＳ上に現実化して行くような感覚ですね。

「平和」について検索すると五万と検索されます。「平和」は誰もが求めていますが誰も確実に手にすることができませんでした。それは時の権力者による言論規制も理由の一つだったと思います。

日本における言論の自由度はＧ７の中で最下位です。これは日本のメディアが特定の企業や団体からの圧力にさらされやすい状況にあって、誰かの都合のいい情報だけ流したり、都合の悪い団体を排除したりする手段になっているってことです。だからＳＮＳのような自由な言論空間が絶対必要なんです。

記憶に新しいところでは昨年の兵庫県知事選や東京都知事選では多くの方がＳＮＳで真実を語っていましたね。アメリカ大統領選でもＳＮＳが大活躍でした。家庭連合の解散命令の背景もＳＮＳで真実が明らかにされ、さらに二世信者たちの真実の訴えがＳＮＳで広がっています。明らかに情報の地殻変動が起きていると感じます。

私たちは日々主にTVを通して誰かの都合のいい情報だけを受け取らざるを得ないという状況です。でもＳＮＳの世界では誰もが自由に情報発信し情報受けとることができます。ようやく私たちは自由な言論空間を手に入れたともいえます。今誹謗中傷が蔓延しているという理由でＳＮＳ規制などとマスコミがざわついていますが、こんな自由な言論空間を絶対規制させてはいけないと思います。そもそも公共の電波を使ってさんざん誹謗中傷をしてきたのはマスコミなのですから。

ＳＮＳの自由な言論空間を守っていけば必ず真実が明らかにされ光を放つようになるし、真の平和の道筋が見えてくるはずです。そのために観ている人たちに共感されるような一つの言葉、1枚の写真、1個の動画を個人レベルでスキルを高めて真実を発信できるように努力していきたいと私は思っています。

　　　　　　　　　　　 以上